

四、生徒一人当たりの教育費はいくらになっているか

学校教育費が生徒一人当たり年額としてどれほど支出されているか、また社会教育費や教育行政費が、人口一人当たり年額としてどれほど支出されているかを示すと表3のとおりである。

表3 教育分野別の生徒(又は人口)1人当たりの教育費

教育分野	実 額		指 数 (注)	
	昭和49年度	昭和50年度	昭和49年度	昭和50年度
A 学校教育費	円	円		
幼稚園	136,111	148,407	51	46
小学校	264,376	323,111	100	100
中学校	268,473	328,468	102	102
盲・ろう・養護学校	1,956,644	2,474,918	740	766
全日制高校	300,087	340,309	114	105
定時制高校	347,994	432,706	132	134
通信制課程	54,620	67,961	21	21
各種学校	71,314	148,026	27	46
B 社会教育費	3,832	3,955	—	—
C 教育行政費	2,264	2,682	—	—

(注) 小学校の児童1人当たり教育費を100とする指数である。

図5 生徒1人当たりの学校教育費の推移

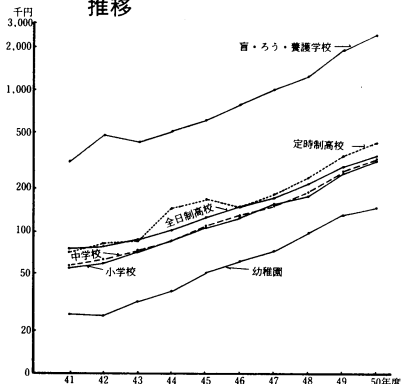


表4 教育費と行政費の推移

年度	県					市					町					村				
	教育費	対前年度増加率	行政費	対前年度増加率	行政費に占める教育費の比率	教育費	対前年度増加率	行政費	対前年度増加率	行政費に占める教育費の比率	教育費	対前年度増加率	行政費	対前年度増加率	行政費に占める教育費の比率	教育費	対前年度増加率	行政費	対前年度増加率	行政費に占める教育費の比率
	千円	%	千円	%	%	千円	%	千円	%	%	千円	%	千円	%	%	千円	%	千円	%	%
昭和41	22,831,459	13.5	66,825,781	16.7	34.2	8,466,159	16.2	38,063,620	21.4	22.2	49,290,070	18.3	176,280,738	20.5	28.0	22,130,619	16.0	107,832,152	20.6	20.1
42	24,722,945	8.3	75,751,201	13.4	32.6	9,488,575	12.1	43,069,544	12.2	22.0	56,978,619	15.6	194,194,483	10.2	29.3	27,069,584	22.3	133,447,179	23.8	20.3
43	26,744,209	8.2	89,370,892	18.0	30.0	10,363,368	9.2	48,869,461	13.5	21.2	61,213,866	42.5	248,978,253	28.2	32.6	33,792,065	24.8	166,904,148	25.1	20.2
44	31,784,237	18.8	105,355,192	17.9	30.2	13,061,192	26.0	59,800,558	22.4	21.8	77,855,887	20.5	292,779,619	17.6	33.4	37,763,822	11.8	195,508,778	17.1	19.3
45	37,437,969	17.8	123,327,720	17.1	30.4	16,236,989	24.3	71,928,890	20.3	22.6										
46	41,656,491	11.3	146,313,589	18.6	28.5	19,072,169	17.5	86,724,553	20.6	22.0										
47	49,290,070	18.3	176,280,738	20.5	28.0	22,130,619	16.0	107,832,152	24.3	20.1										
48	56,978,619	15.6	194,194,483	10.2	29.3	27,069,584	22.3	133,447,179	23.8	20.3										
49	61,213,866	42.5	248,978,253	28.2	32.6	33,792,065	24.8	166,904,148	25.1	20.2										
50	77,855,887	20.5	292,779,619	17.6	33.4	37,763,822	11.8	195,508,778	17.1	19.3										

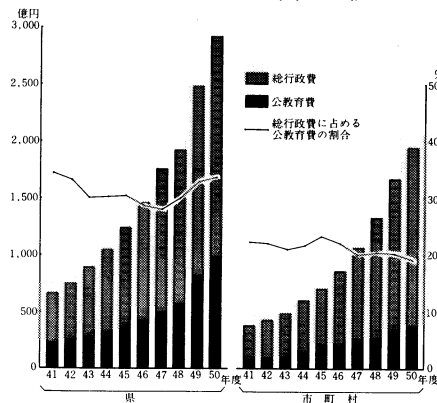
(注) この表でいう教育費とは、公立大学の経費、私立学校に対する補助金及び公費に組み入れられない寄付金等は含まれない教育費である。行政費とは企業会計を除いた普通会計歳出決算総額である。

これを、見ると生徒一人当たり教育費が最も高いのは盲・ろう・養護学校であり、次いで定時制高校となっている。また、生徒一人当たりの教育費は教育分野によってかなりの差が見られるがその推移は図5に示すとおりである。

五、県・市町村別にみた教育費は、それだけの行政費に対してどのような比率を占めてきたか

県・市町村の各財政主体を単位とした教育費と行政費との関係を示すと、表4及び図6のとおりである。

図6 教育費と行政費の推移



見ると、昭和四十八年度からその比率は上昇しているが、市町村の行政費に占める教育費の比率はここ十年では最も低くなっている。

六、寄付金は、どの程度になっているか

教育費の財源としては、国庫補助金、県支出金、市町村支出金、地方債のほかに、寄付金がある。昭和五十年年度の寄付金総額と総教育費に占める比率及び生徒一人当たり寄付金を教育分野・学校種類別に示すと表5のとおりである。

表5によると、寄付金は総教育費の約〇・九%を占めている。この比率を学校種類別にみると、全日制高校が最も高くなっている。

寄付金が、学校種類別においてどのように使われているか、それぞれの支出項目別の構成比を見ると、表6のと

表6 支出項目別にみた寄付金の構成比 (%)

支出項目	幼稚園	小学校	中学校	盲・ろう・養護学校	全日制高校	定時制高校	通信制課程	各種学校
寄付金総額	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
A 消費的支出	65.7	47.4	70.1	92.3	65.2	73.9	100.0	100.0
1 教授費	55.1	30.7	53.2	33.8	42.7	43.2	60.2	100.0
2 維持費	2.5	3.4	3.3	14.2	4.5	5.5	1.8	—
3 修繕費	1.6	6.4	7.9	4.7	7.8	9.9	0.2	—
4 補助活動費	4.8	5.6	3.9	13.4	1.4	3.9	15.2	—
5 所定支払金	1.7	1.3	1.8	26.2	8.8	11.4	22.6	—
B 資本的支出	34.3	52.6	29.9	7.7	34.8	26.1	—	—
1 土地・建築費	—	0.8	0.9	—	16.3	7.8	—	—
2 設備・備品費	34.3	51.8	29.0	7.7	18.5	18.3	—	—
3 図書購入費	—	—	—	—	—	—	—	—
C 債務償還費	—	—	—	—	—	—	—	—

表5 教育分野別寄付金総額と生徒(又は人口)1人当たり寄付金

教育分野	寄付金総額	総教育費に占める比率	生徒1人当たり寄付金実額	生徒1人当たり寄付金
			円	円
A 全学校	1,195,943	0.88	—	—
幼稚園	1,091,201	0.89	—	—
小学校	28,804	1.52	2,261	1,284
中学校	233,528	0.40	1,824	1,824
盲・ろう・養護学校	187,083	0.56	1,824	1,824
全日制高校	4,959	0.20	5,009	5,009
定時制高校	606,397	2.48	8,448	8,448
通信制課程	27,833	1.46	6,331	6,331
各種学校	2,469	1.69	1,148	1,148
B 社会教育費	128	0.45	670	670
C 教育行政費	4,742	0.06	3	3
	100,000	1.89	51	51

(注) 寄付金総額とは、「公費に組み入れられた寄付金」と「公費に組み入れられない寄付金(P.T.A寄付金・その他の寄付金)」の合計額である。

おりである。寄付金の使途は、学校種類によって異なっており、小学校では「設備・備品、図書購入費」、幼稚園、中学校では「教授費」の支出割合が高い。